

## シリーズ 英文法を解き明かす——現代英語の文法と語法

### ⑤ ことばを彩る1 テンス・アスペクト

#### 〈目次〉

#### 第1部 テンス (Tense)

##### 第1章 時と時制と相

- 1.1 時と時制
- 1.2 時の3区分と時制
  - 1.2.1 「時間指示レベル」
  - 1.2.2 「意味レベル」
  - 1.2.3 「文法レベル」
- 1.3 時制と相のパラダイム (関係分布)

##### 第2章 単純現在時制の意味機能

- 2.1 断定性の緩和と矛盾文
- 2.2 モーダル文と現在時制文 (非モーダル文)
  - 2.2.1 命題内容の真実性に対する話し手の関与
  - 2.2.2 命題内容の真実性に対する表明態度
- 2.3 定言的断定文とモーダル文の確信度
  - 2.3.1 「事実」と「確信のなさ」
  - 2.3.2 確信度の濃淡 (査定値の高低)
  - 2.3.3 モダリティの3要件
- 2.4 確信度の立場から見た単純現在時制の使用メカニズム
  - 2.4.1 現在時制の使用条件 (その1) —— 事態生起を知っている場合
  - 2.4.2 現在時制の使用条件 (その2) —— 事態生起を直接認知できる場合
- 2.5 名詞節における現在時制文とモーダル文
- 2.6 条件節における現在時制 (非モーダル文) と認識的 will
  - 2.6.1 先行研究概観
  - 2.6.2 条件節における現在時制と認識的 will の意味機能——私見
- 2.7 条件文帰結節における will と be going to の意味機能
  - 2.7.1 帰結節における be going to の容認性
  - 2.7.2 帰結節における be going to の生起制約  
—— 「意味の完結性」と「時間の不可逆性」
  - 2.7.3 帰結節における be going to の生起要件—— 「既知性」
  - 2.7.4 帰結節において be going to が用いられる意味合い—— 語用論的条件文

### 第3章 過去時制の意味機能

- 3.1 過去時制の中核的意味
  - 3.1.1 過去時制の中核的意味（1）——「遠隔性」
  - 3.1.2 過去時制の中核的意味（2）——「特定性」
- 3.2 過去時制の基本用法
- 3.3 推意と推意のキャンセル
  - 3.3.1 過去時制の推意と「推意のキャンセル」
  - 3.3.2 used to の推意と「推意のキャンセル」
- 3.4 話し手の態度を表す過去時制（丁寧用法）
- 3.5 過去時制による事態の生起順序

### 第4章 英語未来表現

- 4.1 単純現在時制
  - 4.1.1 中核的な意味特徴
  - 4.1.2 単純現在の典型例
  - 4.1.3 予測可能性と意志性
  - 4.1.4 状態性
  - 4.1.5 公的、個人的と確信性
- 4.2 現在進行形
  - 4.2.1 中核的な意味特徴
  - 4.2.2 現在進行形の典型例
  - 4.2.3 約束・手配
  - 4.2.4 意志性と自制不可能性
  - 4.2.5 状態性
  - 4.2.6 一時性
  - 4.2.7 その他
- 4.3 will と be going to
  - 4.3.1 will と be going to の中核的な意味特徴
  - 4.3.2 will の「未来指向性」と be going to の「現在・過去指向性」
  - 4.3.3 will の「条件性」と be going to の「自己完結性・不可避性」
  - 4.3.4 近接性
- 4.4 未来進行形 (will be -ing)
  - 4.4.1 未来進行形の3つのタイプ
  - 4.4.2 「FMC 構文」構文としての will be -ing
  - 4.4.3 FMC 構文の意味特徴——「無意志性」と「非アスペクト性」
  - 4.4.4 FMC 構文の効用
  - 4.4.5 FMC 構文の2つの意味——「状況のなりゆき」と「予定」
  - 4.4.6 FMC 構文のその他の意味特徴
- 4.5 英語未来表現のまとめ

## 第2部 アスペクト (Aspect)

### 第5章 進行相

#### 5.1 語彙アスペクトと文アスペクト

##### 5.1.1.アスペクト特性による動詞の分類

##### 5.1.2 状態動詞の進行形（1）—— Quirk et al. (1985) の quality/state/stance 動詞

##### 5.1.3 状態動詞の進行形（2）——五感動詞・認識的動詞・その他

#### 5.2 進行相の意味特徴

##### 5.2.1 「時間枠効果」

##### 5.2.2 「前段階性」

#### 5.3 現在進行形の注意すべき用法

##### 5.3.1 「動作の反復」（「感情的色彩」）

##### 5.3.2 「丁寧用法」

### 第6章 完了相

#### 6.1 現在完了形の中核的意味

#### 6.2 現在完了形の基本的な意味用法とその意味特徴

#### 6.3 「経験」用法の意味特徴

##### 6.3.1 副詞語句との共起

##### 6.3.2 創造動詞との共起

##### 6.3.3 主語制約

#### 6.4 現在完了形と現在完了進行形の意味的相違

#### 6.5 before 節中の過去完了

##### 6.5.1 過去完了形の2つの意味

##### 6.5.2 「before-過去完了構文」の意味特徴

##### 6.5.3 完了性の強調と日本語